

年 間 授 業 計 画

1 科目名	現代文B	2 履修学年	2学年
3 必修・選択	必修	4 履修単位	2単位
5 教科書	『高等学校 改訂版 標準現代文B』(第一学習社)		
6 副教材等	『漢字ボックス』(浜島書店) 『トータルサポート 新国語便覧』(大修館書店)		
7 学習目標	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。 言語活動を通して知識・技能を学び、それらを活用して、論理的な文章と文学的な文章の読み方、書き方における課題を解決する。		
8 年間授業計画			
月	学 習 単 元	学 習 事 項 等	
4	随筆 「私」という「自分」 鷺沢 萌	・随想の読み方を習得する。 ・「自分らしく生きる」ことについて、自己の生き方に引きつけて考える契機とする。	
5	詩 ころも 萩原 朔太郎	・詩を音読させ、リズムや比喻、音数律をつかませる。 ・詩から受け取れるイメージを自分なりに考えさせる。	
6	ナイン 井上ひさし	・テーマを的確に捉え、それを自身の問題として考える姿勢を養う。 ・登場人物の言動から、表に現れない心の動きを読み取らせ、各登場人物がどのような関係性のうちにあるのかを理解させる。	
7	新しい地球観 毛利衛	・文章の論理的な構成を捉えさせる。 ・筆者の述べる「新しい世界観」、「新しい地球観」とは何かを読み取らせる。	
9	コミュニケーションの文化 平田オリザ	・コミュニケーションの「能力」と「文化」の差異について理解させる。 ・自らのコミュニケーションのあり方について、時代や社会を意識したうえで考察させる。	
10	永訣の朝 宮沢 賢治	・旧かなづかいで書かれた近代詩を読み味わう。 ・詩にこめられた作者の思いを読み取り、言語に対する感性を磨く。	
11	ころも 夏目 漱石	・近代の代表的な長編小説を読んで、読解力を養う。 ・登場人物の生き方と、自己の生き方とを対比して、人生について考える契機とする	
12	同上	同上	
1	同上	同上	
2	同上	同上	
3	同上	同上	
9 評価の観点・方法	言語活動を通して知識・技能を学び、それらを活用して、課題の解決が図れたか、定期考査、課題の提出状況・小テスト・授業への取り組みなどを含めて総合的に評価する。		
10 学習上の留意点	「話す」「聞く」「書く」「読む」の4技能をフル活用して、授業に取り組むこと。 積極的に授業に参加し、ノートをきちんととること。 週1回の漢字テストを実施する。		